



AKITA英語コミュニケーション能力強化事業

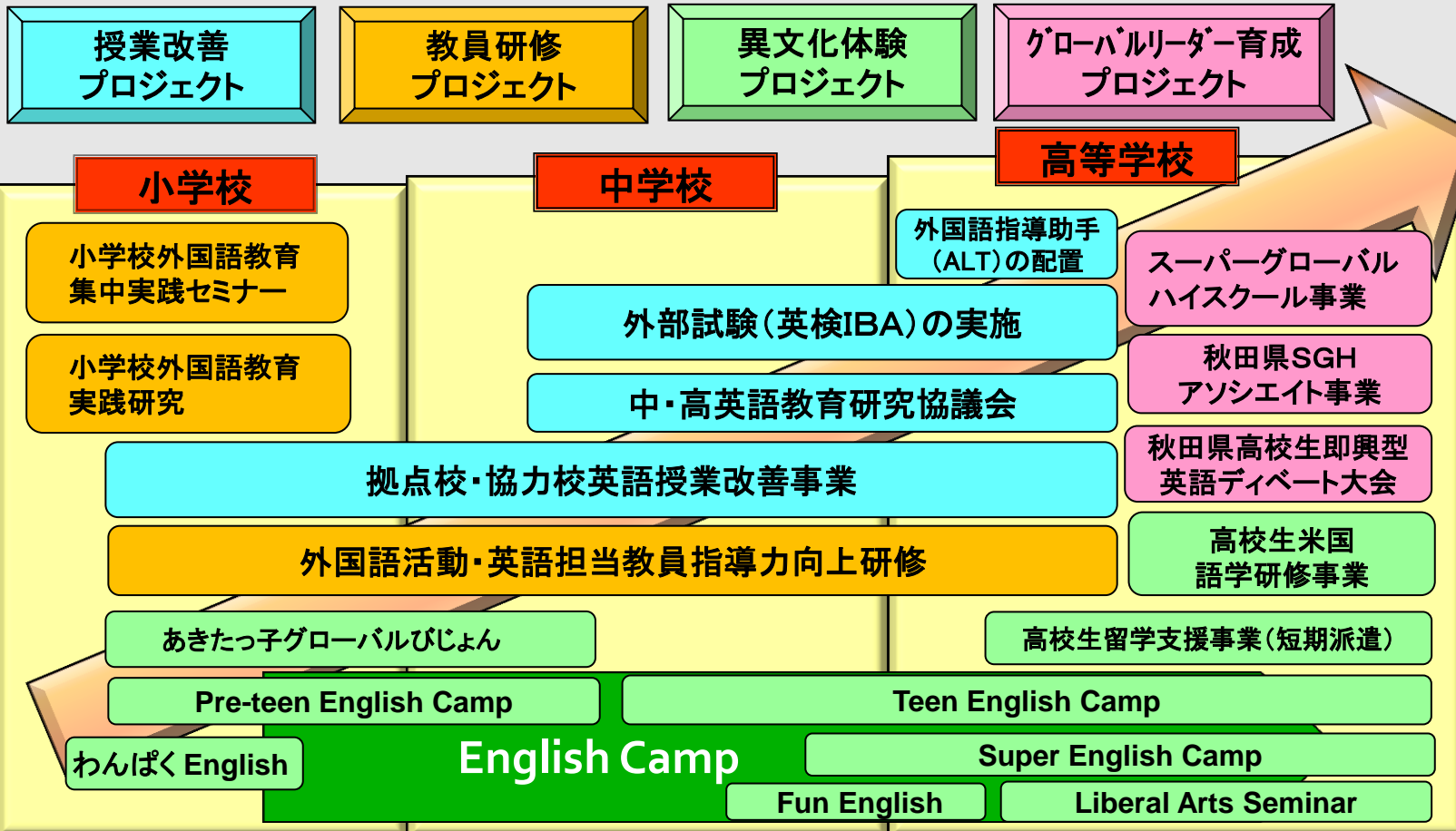


H30-34

高校教育課

目指す児童生徒像：国際感覚や世界的視野を身に付け、グローバル社会で活躍できる人材

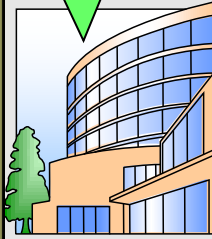
小・中・高等学校一貫した英語教育の推進により、英語を用いて情報を正確に理解したり、自分の考えを適切に伝えたりするコミュニケーション能力の強化を図るとともに、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。



国際感覚・英語力を身に付け、国際社会で活躍できる秋田の児童生徒の育成



県内大学等(外部専門機関)との連携



AKITA英語コミュニケーション能力強化事業 アクションプラン

I 授業改善プロジェクト

1. 中・高英語教育研究協議会

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○中学校・高等学校の英語教育について、当該年度の重点事項に関する協議等を実施し、各校における授業改善を推進する。 ○外部専門機関等から講師を招き、最新の英語教育についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部専門機関等の講師による講演を通し、当該年度の重点事項の共通理解を図る。 ○中・高担当教員合同の分科会において、指導方法や評価について異校種間で情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○最新の英語教育についての理解を深めることで、授業改善につながる。 ○異校種間での指導方法や評価についての情報交換等を通して、ネットワークを築くとともに、中・高の連携を図ることが可能である。

2. 外部試験の活用

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○文部科学省が設定した生徒に求められる英語力の指標に基づき、本県中・高生の英語力の目標達成を目指す。 ○生徒が自身の英語力を正しく把握し、主体的に英語力の向上を図るための一助とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校2年生から高校3年生までの全生徒を対象に、英検IBAを実施する。 ○結果を分析し、地域や県の課題を明らかにし、指導改善に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼性・妥当性のある外部試験により、客観的に生徒の英語力を測ることができる。 ○結果を踏まえ、指導方法の改善や、生徒の英語学習への意欲向上を図ることができる。

3. 外国語指導助手(ALT)の配置

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が授業でALTとふれ合いながら英語を話す機会をより一層増加させる。 ○生徒の「聞くこと」「話すこと」の能力向上を中心に、4技能の総合的な育成に資するとともに、各校における国際教育の取組推進に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県立高校 46 校中ベース校 24 校に各1名、総合教育センターに1名を配置する。 ○授業におけるチーム・ティーチングでの活用を中心に、放課後の指導やイングリッシュキャンプへの参加を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の「聞く」「話す」能力が向上し、4技能の総合的な育成が図られるとともに、生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成できる。 ○各校の国際教育の取組の充実が期待できる。

4. 拠点校・協力校英語授業改善事業(外部専門機関と連携した英語指導力向上事業)

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○県内大学等との効果的な連携を通して、英語担当教員の指導力及び英語力の向上を図る。 ○公開研究会等でモデルとなる実践事例を他校に提供することにより、当該校の成果の普及を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内3地区の拠点校(小・中・高)が中心となり、協力校とともに授業改善を中心とした研究を進め、公開研究会を実施し、成果の普及を図る。 ○外部専門機関(県内大学等)の教員の専門的な指導に基づき、各校種における教員の指導力及び英語力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当教員の英語使用機会及び児童生徒の言語活動量が増加するとともに、言語活動が中心となる授業へと授業改善が推進される。 ○公開研究会の実施により、管内の学校への成果の普及が図られる。

AKITA英語コミュニケーション能力強化事業 アクションプラン

Ⅱ 教員研修プロジェクト

1. 小学校外国語教育集中実践セミナー

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領における小学校外国語教育の拡充を踏まえた研修を開催することにより、円滑な全面実施に資する。 ○外国語の指導方法の習得及び教員の英語運用能力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校教員40名を対象に、夏季休業中の3日間、集中的に外国語教育指導法及び教員の英語力の向上を目指すワークショップを実施する。 ○教科「外国語科」に焦点を当てたワークショップを充実させるなど、新しい研修プログラムを開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領に係る外国語教育について、小学校教員が実践的指導力を身に付けることができる。 ○受講者が教科としての外国語教育について理解を深めるとともに、自校で他の教員に成果の普及を図ることができる。

2. 外国語活動・英語担当教員指導力向上研修

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○英語教育の拡充により一層の充実が求められる外国語担当教員の指導力の向上を図るため、全ての校種における研修を実施する。 ○ワークショップ形式の研修を通して、言語活動を中心とした授業を体験し、授業改善に資する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央研修を受講した本県教員を対象とする3日間の研修を校種毎に実施する。 ○小学校においては中核教員が校内研修を行う。高校の受講者にはフォローアップ研修を実施し、必要な指導助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○受講者の英語力・指導力向上に向けた意識・意欲の喚起が図られる。 ○研修を通じて他の受講者との情報交換や効果的な実践事例が共有される。

3. 小学校外国語教育実践研究

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○総合教育センターの研修員が新学習指導要領小学校外国語科移行措置等についての実践研究を進め、その成果と課題を発信することにより、各小学校における円滑な全面実施に資する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領における喫緊の課題である教員の指導力向上に向けた研究を行う。 ○全国の先行研究事例を収集するとともに、実践的な研究を進め、県内教員に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合教育センターでの教育研究発表会において、成果を発表し普及を図る。 ○新学習指導要領に係る領域や内容の指導についての情報を提供することにより、円滑に全面実施が図られる。



ALT 指導力等向上研修の様子



指導力向上研修の様子

AKITA英語コミュニケーション能力強化事業 アクションプラン

Ⅲ 異文化体験プロジェクト

1. イングリッシュキャンプ

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○発達段階や英語力に応じた複数のキャンプを実施することにより、児童生徒の英語コミュニケーション能力の育成を目指す。 ○ふるさとや異文化に対する理解を深め、様々な人と交流できる機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校3年生から高校3年生までを対象に、ALTとの交流を中心とするコミュニケーション活動を行う。 ○発達段階等に応じ、プレティーン、ティーン、スーパー、わんぱくイングリッシュ、FUN イングリッシュを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異文化理解を深め、積極的に英語で表現しようとする児童生徒が増加する。 ○ネイティブスピーカーとの生きたコミュニケーション体験ができる。

2. 高校生米国語学研修事業

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○英語圏での研修を通して、より広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。 ○英語コミュニケーション能力の強化及び国際社会に貢献しようとする姿勢の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○米国ミネソタ州立セントクラウド大学において、語学研修、交流活動及び異文化体験等を実施する。 ○30名程度の高校生を対象に、7月～8月の17日間程度の日程で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異文化理解、多様性の受容、英語によるコミュニケーション能力及び主体的に行動する姿勢等を育む。 ○帰国後、自校で英語によるプレゼンテーションを実施し、全体で海外研修体験の成果を共有することができる。

3. あきたっ子グローバルびじょん(グローバル人材育成の基盤形成事業)

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○英語によるコミュニケーションの重要性を認識し、国際的視野を広げるなど、自己啓発の機会を提供する。 ○小・中学校において、世界で活躍する人材や留学経験のある人材による講演や体験活動を、一層促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内外の各分野で活躍している人材や外国語学習に関するエキスパート等による講話等の機会を設定する。 ○スーパーイングリッシュキャンプにおいて、海外で活躍する講師を招聘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校等の計画により、より効果的な異文化理解や海外に対する興味・関心の醸成につながる。 ○外国文化や外国での体験談にふれることにより、国際的な視野を広げ、将来の生き方について考えを深める機会となる。

4. 高校生留学支援事業(短期派遣)

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○英語力の向上や異文化理解、国際協調の精神を培うため、本県高校生の海外留学を奨励する機運を醸成する。 ○グローバル人材の育成及びチャレンジ精神の育成等を目指し、海外研修事業や補助事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○短期(2週間以上、1年未満)の海外派遣プログラムに参加する生徒を対象に、留学費の一部を補助する。 ○学校が主催する2週間以上1年未満の海外派遣プログラムに参加する高校生を対象に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○海外に対する視野が広がり、ものごとを多角的な視点から考えることができるとともに、語学習得に対する意欲が向上する。 ○長期留学を希望する生徒が増加する。

AKITA英語コミュニケーション能力強化事業 アクションプラン

IV グローバルリーダー育成プロジェクト

1. スーパーグローバルハイスクール事業(秋田南高校)

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○グローバルリーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付ける。 ○将来、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成に資する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○秋田南高校(指定校)が、「こまちの里」秋田の高校生が「地球村」の食糧問題に挑む！のテーマで研究を進める。 ○学校設定科目「国際探究」、問題解決力育成授業、国際教養大学との連携により課題研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な事象と世界全体の問題を結び付けながら、積極的に課題を解決しようとする態度が育成される。 ○グローバルリーダーに不可欠な「課題設定能力」「課題探求能力」「論理的思考力」「プレゼンテーション能力」「実践力」が育成される。

2. 秋田県SGHアソシエイト事業

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○アソシエイト校を指定し、現在のスーパーグローバルハイスクール事業に準ずる取組を実施し、グローバルリーダーの育成を図る。 ○秋田南高校の取組を参考に、複数の高校による共同研究や交流等を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県立高校をアソシエイト校として指定し、グローバルリーダーに必要な資質・能力の育成を図る取組を行う。 ○指定校の実態に合わせたテーマを設定し、研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な事象と世界全体の問題を結び付けながら、積極的に課題を解決しようとする態度が育成される。 ○グローバルリーダーに不可欠な「課題設定能力」「課題探求能力」「論理的思考力」「プレゼンテーション能力」「実践力」が育成される。

3. 秋田県高校生即興型英語ディベート大会

目的	事業概要	効果
<ul style="list-style-type: none"> ○社会、政治、倫理、環境、国際問題などを論題に、その場で考えて柔軟に英語で意見を交わし合うことにより、相手を説得できる論理的思考力を鍛え、国際社会で活躍できるグローバルリーダーに必要な素養を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○秋田県総合教育センターを会場に、トーナメント方式により行う。 ○ディベートを通して、即興で話す能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語による即興でのやり取りを積極的に行う生徒が増加する。 ○英語コミュニケーション能力の向上とともに、他校の生徒との交流により、ネットワークを拡充するとともに、英語学習への意欲が向上する。



SGHグローバルヴィレッジホールでの発表の様子



スーパーイングリッシュキャンプの様子